

管理職全員の手当カットで充当するのは問題

各常任委員会で議案の問題点をチェック

6月議会は20日から25日まで4日間、4常任委員会が開かれ、付託された議案の集中審査が行われました。28日の本会議最終日に委員長報告、質疑、討論採決が行われ閉会しました。総務常任委員会では小西議員が、厚生文教常任委員会では山岡議員が、産業建設常任委員会では岡田議員が積極的に発言し、議案をチェックしました。小西議員の一般会計補正予算の反対討論を紹介しましょう。

議案第61号平成30年度甲賀市一般会計補正予算案(第一号)の、小西喜代次議員の反対討論です。

補正予算の中で管理職手当減給以外は同意

予算決算常任委員長報告に反対、原案に反対の立場から討論します。

今回の補正予算案には、信楽高原鉄道対策事業や小中学校施設大規模改造事業など国や県の補助採択を受けた事業や、(仮称)西部学校給食センター及び水口体育館の整備など緊急に必要な事業が計上されており理解できる内容です。

特に、水口小学校の女児の水難事故を受けて、再発防止策の一つとして、側溝に蓋をするなど4000万円の工事が計上されています。

当面の側溝改善は必要なことですが、同時に、通学路の安全再点検をふまえ、また地域の要望を受けて、例えば大阪北部地震の影響で倒壊したブロック塀などについてはどうか、その他農業用水路はどうかなど、総合的・多面的な視点で、通学路の安全

確保を図るための対策が今後も引き続き必要であることとを申し添えておきたいと思えます。

本人同意なしは問題

さて、今回の補正予算に反対するポイントは、選挙の不適正実務に関し、その再発防止策などの経費を、特別職及び管理職全員から管理職手当を減給し、財源確保するという問題です。

提案説明では、これまで予備費で充当していた開票事務不適正事件に関連の経費358万7千円を、市長・副市長・教育長の特別職の給与減額と220人の管理職全員の管理職手当の減額で財源確保、補填するというものでした。

これは5月1日の部長会議で市長が提案し、その理由は「不正処理がなければ発生しなかった経費を税金で使うのはおかしい」「幹部職員の不祥事であり、管理職全体で自分の問題としてとらえよ」という市長の考えに基づいたものとの説明でした。しかし、その一方で今回の措置は特別職の給与減額も

含め、「事件の責任を問うものではない」とされていきます。つまり、「処分」による減給となしとするのなら、当然本人同意が必要で

特別職の減給は自らの判断での減給であり理解はできますが、管理職全員の手当の減額は問題です。

本会議質疑の中でも、条例や規則に基づくものではないことが明らかにになりました。一般的に言って、労働基準法の「賃金全額支払い」の原則にてらして考えるならば、「処分」でない限り「同意」が必要で

議案質疑では、「管理職には、部局長を通じて説明し、一人一人の同意を得たわけではないが意見がなかったもので同意を得られたものと判断した」とのことでした。

意見が出なかったから「同意」と判断するのには無理があるのではないのでしょうか。

市長名で管理職に「通知」

5月1日付で市長から管理職各位とされる、「通知」が出されています。この中で、「今回の事案は

選挙管理委員会事務局職員が起因する事案であり、その責任は当事者は当然のことながら、当職をはじめ市職員全員の責任として重く受け止めなければなりません。よって、再発防止のため必要となる応分の経費の捻出について別紙のとおりとします。その趣旨を十分ご理解ください」と記されています。

今回の文書は「通知」です。文書を読む限り、本人同意を前提としていない、お知らせである「通知」としていることから見ても、本人同意を前提としていなかったのではないのでしょうか。

また、「連帯責任」ともとられかねない内容ともなっていることも気になる点です。

議案質疑では、財源確保の他の方法は検討しなかったとのことでした。今回の判断は不測の事態でのリーダーとしての市長の判断だと言明しました。

しかし、市長の職員との対話、意欲を尊重するというこれまでの姿勢からして、今回の事件の教訓からも、職員が自主的に主体的な取り組みが求められているときだけに、時間をかけた職員間の話し合いこそ必要ではなかったのでしょうか。

最後に、管理職の減給でなく予備費充当が妥当であることを指摘して、反対討論とします。



県知事選

近藤まなぶ氏善戦

6月24日投開票の滋賀県知事選挙で、「市民がつくる滋賀県政の会」から出馬した近藤まなぶ氏は国体問題、大戸川ダムやくらし、国体問題など県政での対決軸を明らかにし健闘されました。選挙結果は右のように現職の三日月氏が再選しました。

滋賀県知事選挙 得票数と得票率

- 近藤まなぶ 77,213票 16.99%
日本共産党推薦
- 三日月大造 377,132票 83.01%
支援 =自民、公明、国民民主、社民党支持

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2018年7月1日 第222号



山岡 光広

甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次

信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美

土井町南土井78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696